

社会司牧通信



202512

★印はカトリック関連

平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスクでは、教会が社会へ発信しているメッセージや社会の中で活動する団体の情報をお知らせします。社会へのチャレンジの第一歩として、積極的にご参加ください。

★第27回日韓司教交流会 | カトリック中央協議会 (11月17日～20日)

27回目を迎えた日韓司教交流会が開催されました。第二次世界大戦終結80年の会場に選ばれたのは、広島教区。コーディネーターは、中井淳神父(イエズス会:ロクスひよりやま)。東アジアの平和と和解のために働く実績をもって臨まれた交流会。長生炭鉱(宇部市)、朝鮮学校、韓国朝鮮人被爆者(平和公園内韓国人慰霊碑)など、日韓の架け橋となる場所を選び、広島教区で働く韓国司祭たちと共に、日韓の司教様方を案内されました。



2027年には、韓国でWYDが開催されます。ますます、韓国と日本が近くなりますように。

そして朝鮮半島の統一を祈ります。

[日韓司教交流会 広島教区で開催 戦後80年「傷跡と希望」を共有 新たな支援も | カトリックジャパンニュース](#)



●『日本政府に核兵器禁止条約の署名、批准を求める署名』継続中！

*11/21 政府に手渡した署名は344万9012筆でした。ご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。締切を過ぎても政府が核禁条約に署名、批准するまで署名は継続されます。

【日本被団連・原水協署名共同提出「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める」広島大行動】

日時：2025年11月21日(金) 16:00～17:30

場所：平和公園 原爆ドーム前

内容：主催者あいさつ、被爆者の訴え、リレートーク



★大分教区から 佐賀関大火 支援のお願い 締切12月末

[「佐賀関\(大分市\)火災被災者支援の募金開始」について](#)

【募金送付先】

郵便振替：01730-3-129122 加入者名：カトリック大分司教区 大分教区カリタス

*振込用紙には、『佐賀関火災』とお書きください。



★『エコロジカルな回心のための霊的な旅路』中井 淳 sj 訳 (教友社：2000円＋税) 出版されました！

待降節の個人黙想のテキストにいかがでしょうか。

オリーブの樹・平和の使徒推進本部でも取り扱っています。

① [本 | Shop Pauline 女子パウロ会オンラインショップ通販](#)

② [エコロジカルな回心のための霊的な旅路—『ラウダート・シ』からの呼びかけ | 通販 | Amazon](#)

『マコはハルモニア・ムンディにのって踊る』 (7) 知恵の手紙

ロクスひよりやま キャプテン 中井 淳 SJ
(旧下関労働教育センター イエズス会神父)



マコがフィリピンのミンダナオから戻ると、日本はようやく秋の到来を感じるくらいには暑さが和らいでいた。マコが慕っているエミリさんが東京から福岡へ出張する機会に、マコに会いに来てくれた。エミリさんは、性的虐待や人身売買といった暴力によって傷ついたアジアの女性たちの心のトラウマを癒す活動をしてきた人だ。だから、耳を傾け、人の心に寄り添うことをきちんと訓練したエミリさんと話していると、いつしかマコは、友人たちにも語らない内面の奥深くの痛みをいつしか分かちあっていた。マコがずっと抱えてきた弱さを、エミリさんは受けとめてくれた。

次の日の朝目が覚めると、心が晴れ晴れとしていることに気づいた。「聴いてもらうこと」、「受けとめてもらうこと」がどれだけ心を癒してくれるかをマコは体感した。エミリさんの出発までまだ時間があったので、マコはエミリさんを誘って、小高い山に登った。木立の中を歩いていると、おのずと“先住民の宿している知恵”について話題が展開した。エミリさんはマレーシアの密林の中で先住民たちと暮らしながら修士論文を書いた経験がある。だから、マコがミンダナオで過ごした体験を興味深そうに聴いてくれた。「ねえ、マコちゃんが言っていることが、ちょうど私が今読み返している本に書かれていることと響き合っているのよね。私は一度読んだから、マコちゃんにかしてあげる。」そうして、エミリさんがカバンから出して渡してくれた本は、アメリカ大陸の先住民たちに伝わる伝承を集めたものだった。そして、導かれるように、その本の筆者ホークウインド（鷹の風）さんが提供している“知恵の手紙”という2年間のコースにマコも参加することになった。二週間ごとにホークウインドさんから手紙が届き、そこで示されたものを材料に瞑想していくというものだ。マコは、今自分に必要なのは、この霊的な旅路なのだということを感じていた。トマス・ベリー神父さん、瀬川神父さん、そしてミンダナオのパドロ神父さんが先住民の知恵から学んだように、自分もきっとこの旅路の中で変容されていくのだ、とマコは感じた。

いよいよ西の街の木々も紅葉し始めた頃、瀬川神父の企画した、青年たちのための“エコロジカル黙想会”にマコもスタッフとして参加した。瀬川神父は、自分が翻訳して出版した『エコロジカルな回心のための霊的な旅路』をテキストに、最近は黙想プログラムをたくさん行っている。黙想会は、神戸の六甲山のキャンプ場で行われた。広い牧場で静かに、日常を振り返って祈る時間、そして祈ったことを二人のペアになって分かちあう時間はとても豊かな時間だった。特に都会から来た青年たちにとっては格別の体験だったに違いない。二日目は、



分のこれからの歩みを曼荼羅に描くという作業を行ない、その後、それぞれの曼荼羅に描かれたものを分かちあった。牧場で祈った一日目の時間が上手く統合されているようで、みんなに共通していたテーマは「自然と共に歩む」ということだった。「自然に心を開いたら、全てのことは繋がっているのだと気づくことができるようになった」と分かちあってくれている青年たちの言葉を聴きながら、エコロジカルな黙想をもっとより良く手伝えたい、そのためにはきっと先住民の知恵から学んでいく「風の便り」の旅路が何よりもマコを助けてくれるだろうと思うのだった。
(つづく)

★カトリック広島教区 ハラスメント相談窓口：広島教区人権擁護デスク★

受付時間 木曜日（祝日を除く）9:00～16:00 電話番号 082-555-1127

メール：desk-hiroshima@catholic.hiroshima.jp

H・Social* *H・Social* *H・Social* *H・Social* *H・Social* *H・Social

発行 カトリック広島教区 平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスク

TEL：082-221-6613 FAX：082-221-6019 E-Mail info@social-desk.net